

平成22年度「全国学力・学習状況調査」の結果を公表します

文部科学省が、今年4月20日に小学校6年生、中学校3年生を対象に実施した「全国学力・学習状況調査」の結果(抽出校:小学校31校中11校、中学校14校中8校)を市民の皆さんにお知らせします。

今回の調査は抽出方式であり、昨年度までの全学校参加方式とは異なっています。

なお、本調査は、児童生徒が身に付けるべき学力の一部であり、学校における教育活動の一側面を調査したものです。



●鹿屋市立小学校結果の概要(小学校6年生)

教科	結果	今後の対策
国語A「知識」	主として「知識」に関する問題は、全国平均を上回りました。	国語科においては、今後も引き続き、基礎的・基本的な知識・技能及びそれらを活用する力を付けていきます。
国語B「活用」	主として「活用」に関する問題は、全国平均を上回りました。	
算数A「知識」	主として「知識」に関する問題は、全国平均並でした。	算数科においては、今後、基礎的・基本的な知識・技能を活用する力を付けるために、思考力や判断力を育む学習を進め、学習したことを生活の中で活用するなどの指導の工夫を行います。
算数B「活用」	主として「活用」に関する問題は、全国平均並でした。	

●鹿屋市立中学校結果の概要(中学校3年生)

教科	結果	今後の対策
国語A「知識」	主として「知識」に関する問題は、全国平均並でした。	国語科においては、今後、基礎的・基本的な知識・技能を付けるために、個別指導や繰り返し指導などを充実していきます。
国語B「活用」	主として「活用」に関する問題は、全国平均並でした。	
数学A「知識」	主として「知識」に関する問題は、全国平均並でした。	数学科においても、今後、基礎的・基本的な知識・技能を付けるために、個別指導や繰り返し指導などを充実していきます。また、基礎的・基本的な知識・技能を活用する力を付けるために、思考力や判断力を育む学習を進め、学習したことを生活の中で活用するなどの指導の工夫を行います。
数学B「活用」	主として「活用」に関する問題は、全国平均を若干下回りました。	

●前年度との比較

○小学校算数は、「知識」に関する問題以外の全ての教科で、前年度より伸びました。

○中学校国語は、「活用」に関する問題以外の全ての教科で、前年度より伸びました。

特に中学校数学は、「知識」「活用」ともに前年度より大幅に伸びました。

●児童生徒質問紙調査の結果について

○「夢や目標」をもっている児童生徒の割合は、全国よりも高い結果になっています。

○本市の児童生徒は、全国よりも規範意識が高い結果になっています。

○本市の児童生徒は、全国よりも読書への意欲が高い結果になっています。

○小中学生ともに、平日・土日に1時間以上学習している児童生徒の割合は、全国より高い結果になっています。

●土日に学習時間が30分未満の児童生徒の割合が、小学生で約35%、中学生で25%もあり、土日の家庭学習時間の確保が課題と言えます。



●家庭へのお願い

○「早寝・早起き・朝ご飯」等の生活習慣の定着を図りましょう。

○「かのや宅習1・2・3運動」(宅習と読書の充実を目指す運動)の定着を図りましょう。

【問い合わせ】市学校教育課(6階) ☎ 0994-31-1137